



玉里中通信 No. 6

令和2年8月24日

学校教育目標 (た)くましく (ま)ごころあふれる (り)りしい生徒の育成 小美玉市立玉里中学校

2学期がスタート

2学期が始まりました。今年度は、体育祭がコロナ対策で中止し、学年ごとのスポーツレクリエーションになりました。しかし、緋秋祭の合唱コンクールは、リモート鑑賞等の感染防止策をとりながら実施を考えております。みんなで力を合わせて行う学校行事が行えない中、学校のキーワードである「凡事徹底・参画・全員力」の参画と全員力を大切に、合唱コンクールを思い出に残る行事にしたいと考えております。



2週間ほどの夏休みでしたが、早く学校モードへとスイッチを切り替える必要があります。勉強や生活、部活動に頑張れるよう、全職員で支援していきたいと思っております。

9月の主な行事

- 1日(火) スクールカウンセラー相談日(AM)
- 7日(月) 玉中タイム⑥
- 8日(月) スクールカウンセラー相談日(PM)
- 9日(水) 歯科検診(AM)
- 10日(木) 内科検診(PM)
- 14日(月) 玉中タイム⑥
- 15日(火) スクールカウンセラー相談日(AM)
- 18日(金) 新人戦壮行会 ※教室で映像視聴により実施
- 24日(木) 東茨城地区新人大会(～25日)
3年生実力テスト
- 26日(土) 3年親子奉仕作業
- 29日(火) スクールカウンセラー相談日(PM)
- 30日(水) 思春期親子講演会②③(第2学年)

2学期に向けて 一部抜粋

- 僕は1学期を振り返って、頑張ったことや感じたことがあります。まず勉強です。中学校は小学校と違って、勉強が難しくなったので大変です。期末テスト前には全然自主学習をしていなかったの、よい点数が取れませんでした。範囲学習では、最後の方まで提出できず、苦しみながら終わらせました。
次に学校生活についてです。分散登校が終わって通常登校になり、最初は慣れていなくて、

頭が痛くなったりして早退してしまうことが何回かありましたが、今はそういうこともなくなったのでよかったです。中学校で初めて会う友達とは、最初は話しかけにくかったけれど、今は話しやすいと思えるようになりました。

最後に部活動です。バスケット部に入って最初の頃は、きついなと思ったりしました。でも、先輩がやさしくディフェンスやレイアップなどいろいろなことを教えてくれました。入部したころよりは成長できたのかなとは自分では思っています。もうすぐ新人戦があるので、スタメンに入れるような実力をつけたいです。

2学期は、部活動と勉強を両立できるようにしたいです。何事も「やればできる」ので、頑張っていきたいです。

(1年 鈴木 春駕)

- 僕は1学期の反省が二つあり、2学期の抱負が一つあります。

1学期の反省の一つ目は勉強です。僕はテストでなかなか順位がのびませんでした。その理由は、家での自主学習が足りなかったからです。いつも塾任せにしていたから家での自主学習がおろそかになっていました。2学期は塾任せをやめていき、塾のない日も自ら進んで勉強したいです。二つ目は部活動です。今年はコロナウイルスの影響で総体がなくなってしまいました。今の3年生の分まで自分たちは頑張って県大会出場を決めたいです。

2学期の抱負は、友達とのコミュニケーションについてです。今までは休み時間に話していた人たちは毎日固定されていて、他の友達と男女関係なく楽しくコミュニケーションをとって、楽しい毎日にしていきたいです。そして、楽しいクラスにしていきたいです。

(2年 中山 央晟)

- 新学期が始まりました。受験まであと5か月。部活動も終わり、新しいスタートを切ります。

今年はコロナウイルスが流行し、いくつかの学校行事も中止されました。とても残念なことです。中学校最後の年なので、行われる行事はいい思い出となるようにしたいです。合唱コンクールでは、自由曲がとていい歌詞で四つのパートが響き合うときれいです。クラスの皆

で心をつにして少ない人数でもそれを感じさせないような声量で感動を届けられるように一生懸命練習したいと思います。

学習面では、苦手な教科はもちろんですが、得意な教科も伸ばしていきたいです。私は歴史や英単語などを記憶することが好きではないので、間違えたところは単語帳を使うなどして、繰り返し解いて覚えたいです。数学は得意な教科ですが、テストの時間配分に気をつけるとともに、難しい問題になれるために、いろいろなパターンにチャレンジして解けるように頑張りたいです。

今年は例年と違う生活になってしまいましたが、最後の中学校生活を前向きに過ごせるように、3年生として後輩の手本になれるように、何事にも真剣に取り組みたいです。

(3年 野原 彩月)

校舎の外壁面選定

生徒会が主催して、選定を進めてきた、玉里学園義務教育学校校舎の外壁面のデザインが決定しました。



玉里地区出身の滝平二郎氏のきりえ3作品の中から、生徒の投票により、「モチモチの木」が選定されました。

生徒会では、全生徒に「地元の学校にふさわしいデザインを選ぼう」と投げかけ、8月3日



(月)の朝の活動の時間に、生徒会役員が各教室において、生徒会新聞によりデザイン案を生徒に示し、それぞれのデザインのコンセプトや良さを説明しました。8月5日(水)には投票を実施し、8月7日(金)の第1学期終業式の後、生徒会によって結果が発表されました。

吹奏楽部発表会

3年生部員が参加しての最後の発表会が、校内で行われました。

まず、8月7日(金)の終業式前に、生徒対象に発表しました。新型コロナウイルス感染対策として、3年生が体育館で鑑賞し、1・2年生は教室でリモート鑑賞をしました。

次に、8月8日(土)、吹奏楽部保護者を招いて「吹奏楽ありがとうコンサート」が行われました。

新型コロナウイルスによる影響で、コンクールが中止となりましたが、3年生を中心に練習を重ね、今回、すばらしい演奏を聴かせてくれました。

吹奏楽は、チームワークが非常に大切な部活動だと思います。それぞれの楽器のそれぞれのパートを責任をもってこなさなければよい演奏にならない。何回も何回も練習を重ね、部員全員の心が一つ



になることで、聴く人に感動を与えることができる。練習は辛いけれど、一つの曲が完成したときの達成感、うれしさは計り知れない。そのことは、演奏後の一人一人の部員の顔を見れば分かりました。「吹奏楽やっていたよかった」と心の声が聞こえてくる二つの発表会でした。



中学校通信陸上競技大会県大会

8月9日(日)、笠松運動公園陸上競技場において、第66回全日本中学校通信陸上競技大会茨城県大会が行われました。玉里中学校からは、3年生の山口羅羽さんと橋本佳樹さんが出場しました。本大会は出場するための標準記録が設定されています。山口さんと橋本さんは2年生時に標準記録をクリアしており、今回堂々の県大会出場です。山口さんは共通男子走高跳、橋本さんは共通男子200mに出場。それぞれ、中学校最後の競技大会に全力で臨みました。



検定での頑張り

【実用英語検定】

<3級> 上田朱優② 笹目陽菜②

○は学年

